

# ひょうごKOBÉ 介護ロボットフォーラム開催要項

《 厚生労働省 平成30年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 》

テーマ：「福祉・介護分野の将来像を描くために」

- 【目的】** 介護現場においては、腰痛発生件数が著しく増加してきていると共に、人材確保の問題も年々深刻化してきており、解決手段のひとつとしての実用的な福祉用具・介護ロボットの開発が期待される一方、導入する施設では使用方法の周知や施設全体の介護業務の中で効果的な活用方法を構築していくことが課題となっている。  
フォーラムにおいては、関連する情報や知識の普及を図ると共に、活用方法や今後の介護のあり方について考える機会を提供し、今後の介護業務改善に反映させていくことを目的とする。
- 【日時】** 平成31年2月12日（火） 9：50～15：00（受付開始 9：30）
- 【場所】** 兵庫県立福祉のまちづくり研究所 3階 多目的実験室  
（〒651-2181 神戸市西区曙町1070 総合リハビリテーションセンター内）
- 【対象】** 福祉介護職員、福祉用具・介護ロボット関連業者、一般県民等
- 【定員】** 120名
- 【参加費】** 無料

## プログラム

- 9：30 受付開始
- 9：50 オリエンテーション
- 9：55 開会あいさつ 兵庫県立福祉のまちづくり研究所  
所長 陳 隆 明
- 10：05 **【行政説明】**  
(1) 厚生労働省老健局 高齢者支援課  
(2) 兵庫県健康福祉部少子高齢局 高齢政策課 課長 津曲 共和 氏
- 10：35 **【事業成果報告】**  
(1) 平成29年度 介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業から  
《認知症見守り支援》  
・コニカミルタ QOLソリューションズ株式会社 代表取締役社長 三浦雅範 氏  
・筑波学院大学 名誉教授 浜田利満 氏  
(2) 平成30年度 介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調のための  
協議会設置事業について  
一般社団法人 日本作業療法士会  
プロジェクトコーディネーター リーダー 小林 毅 氏
- 11：55 休 憩
- 13：00 **【移乗介助ロボットの活用事例から学ぶ】**  
(1) HAL腰タイプ 介護支援用 活用事例  
社会福祉法人 野の花会 理学療法士 楠元 寛之 氏

(2) 離床アシストロボット リショーンネ 活用事例  
社会福祉法人 サンライフ/サン・ビジョン

リハビリ統括責任者 篠田 明 氏

14:00 講演: 「これからの移乗介助ロボットへの期待」

講師: 森ノ宮医療大学 大学院 保健医療学研究科

教授 博士(工学) 上田 喜敏 氏

15:00 閉 会

\* 2月11日(祝)・12日(火)は、隣接の障害者スポーツ交流館にて、福祉用具・介護ロボットフェスティバル(特別展示会)を開催しておりますので、重ねてご案内申し上げます。詳細は別添チラシをご参照ください。

\* ご参加の方は、最終時間までの参加をお願い致します

【申込方法】

1月31日(木)までに、別紙申込書用紙により、下記の申込先まで、メールまたはFAXでお申し込み下さい。(当研究所ホームページにも掲載中)

なお、定員になり次第締め切らせていただきます。またひとつの職域で多数参加になる場合は調整させていただくことがありますので、ご了承下さい。

\* 上記以外の場合の受講の可否のご連絡は致しませんので、あらかじめご了承下さい。当日は参加申込書の原紙を受付でご提示下さい。

【申込先】

〒651-2181

神戸市西区曙町 1070

兵庫県立福祉のまちづくり研究所 ロボットリハビリテーションセンター課(水口、片岡)

TEL 078-925-9283 FAX 078-925-9284

メール [info00@assistech.hwc.or.jp](mailto:info00@assistech.hwc.or.jp)

ホームページ <http://www.assistech.hwc.or.jp/>

\* なおセンター敷地内の駐車場は、病院患者様、施設利用者様の駐車場ですので、一般の方の駐車場に限りがございます。公共交通機関または周辺の有料駐車場をご利用の上、ご参加いただきますようお願いいたします。

